

## 幼児教育学科 1年 後期 総合科目

1. 富山コミュニティー論
2. 生涯スポーツ実技

## 幼児教育学科

科目名: 富山コミュニティー論				担当教員 氏名: 学科・専攻AD					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、 実践躬行			
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自らが設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	30 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	40 %
特記事項: その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修      ディスカッション、ディベート      グループワーク      プレゼンテーション      実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画						準備学修(予習・復習等)			
						学修内容	学修に必要な時間(分)		
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる						【予習】シラバスの確認	【予習】30分		
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①						【予習】計画書の作り方を調べる	【予習】30分		
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③									
⑤【AD】連携機関との打合せ						【予習】計画書の確認	【予習】60分		
⑥【AD】調査計画の修正									
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①						【予習】計画書の確認と実体験にむけて	【予習】60分		
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②									
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討						【予習】ノートの整理	【予習】60分		
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)※1						【予習】発表準備	【予習】60分		
⑬【AD】学習成果のまとめ①						【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分		
⑭【AD】学習成果のまとめ②									
⑮【全学科】学習成果報告会 Uホール						【予習】発表準備 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分		
使用テキスト: 特にありません。						その他参考文献など: 佐藤郁哉:フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる 社会学やさまざまな領域の文献を探求的に探し参考にしてほしい。			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ※1.ボランティア報告会の日時は学科専攻の担当教員からお知らせがあります。 ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									

## 幼児教育学科

科目名： 生涯スポーツ実技				担当教員 氏名： 泉 敏郎					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	実技	必修	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのよ健康運動指導士として、健康づくりの指導をしていたことから、実践から継続につなげるための意欲の向上 うな授業を行っているか： について重点的に指導するようにしている									
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得する。また、集団で活動することでコ ミュニケーション能力の構築も実践する						・生涯スポーツ ・コミュニケーション ・体験学習			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			生涯スポーツに必要な知識について理解する						
D 問題解決力			様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める						
F チームワーク・リーダーシップ			チームメイトと協力して実技を行う						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	50 %	発表：	%	実技試験：	50 %	その他：	%
特記事項：									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 課題レポートの提出と簡易体力測定による評価									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容	学習に必要な 時間(分)		
①オリエンテーション・コミュニケーションゲーム						復習：自らのスポーツ歴について理解する	15分		
②体力測定①(シャトルラン)						復習：体力向上のための目標設定	15分		
③インクルーシブスポーツを体験する						復習：インクルーシブについて	15分		
④サッカー						復習：ボールゲームの実践	15分		
⑤転がしドッチボール・ドッチボール						復習：ボールゲームの実践	15分		
⑥キックベース・Tボール						復習：ボールゲームの実践	15分		
⑦ビーチボール：基本練習						復習：ビーチボールのルールを理解する	15分		
⑧ビーチボール：基本練習						復習：ビーチボールの技術を理解する	15分		
⑨ビーチボール：試合						復習：ビーチボールの技術を理解する	15分		
⑩ビーチボール：試合						復習：ビーチボールの技術を理解する	15分		
⑪ビーチボール：試合						復習：ビーチボールの技術を理解する	15分		
⑫ダンス体験						復習：ダンスのリズムを復習する	15分		
⑬ヨガ体験						復習：ヨガを復習する	15分		
⑭体力測定②(シャトルラン)						復習：体力の変化について確認する	15分		
⑮振り返り						復習：体力を評価する	15分		
使用テキスト： 特になし。						その他参考文献など：運動とスポーツの生理学			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・実技の時は、アクセサリを外すこと。 ・動きやすい服装で参加し、必ずうち履きシューズを履くこと。									